

研究対象者に対する説明文書

福井大学医学部附属病院血液・腫瘍内科では、倫理委員会の承認を得て、福井県 JA 厚生連健康増進部健診部に受診された方のデータを解析して、下記の臨床研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお 2015 年 4 月 1 日から 2015 年 10 月 31 日の間で、福井県 JA 厚生連健康増進部健診部に受診された方でデータの使用を拒否される場合は下記問い合わせ先にご連絡下さい。研究機関にご連絡いただいた時点より集計対象から除外することを保証いたします。

平成 27 年 11 月 福井大学医学部附属病院血液・腫瘍内科

<研究課題名>

福井県における尿酸値異常とメタボリックシンドロームの相関を中心とした疫学調査(後方視的調査)

<研究期間>

承認日から 2016 年 3 月 31 日まで

<対象者>

2015 年 4 月 1 日から 2015 年 10 月 31 日の間で、福井県 JA 厚生連健康増進部健診部に受診した者

<研究の意義・目的>

本邦では、高尿酸血症(血清尿酸値 7 mg/dl)は男性では30%、女性では5%以下である。痛風患者は増加傾向であり、日本での有病率は0.1~0.3%と推測され、90%以上が男性である。発症年齢は40代前後に多く、最近は若年化の傾向がみられる。現在は推定90万人を越し、痛風予備軍は500万人に達するとされる。また、日本において痛風歴のない一般男性104人と痛風患者247人におけるメタボリックシンドロームの頻度の調査結果では、一般男性ではメタボリックシンドロームの頻度は約21%であったのに対し、痛風患者では約37%と有意に高頻度であった。(堤 善多ほか：痛風患者におけるメタボリックシンドローム、痛風と核酸代謝 32:25-30, 2008) 高尿酸血症・痛風患者は脂質異常症を高率に合併し、特に高トリグリセライド血症が多い。高尿酸血症患者の44.6%が高トリグリセライド血症を合併しているとの報告もある。逆に、高トリグリセライド血症の82%に高尿酸血症がみられるとの報告もある。本邦においては、首都圏で

の人間ドック施設や大病院において、血清尿酸値とメタボリックシンドロームとの相関についての報告が散見される。福井県においては未だ、地域における疫学の報告はなく、今回、福井県における尿酸異常症とメタボリックシンドロームの現状解析を試みる。本研究により、高尿酸血症がメタボリックシンドロームに関わる重要な因子の一つであり、早期治療の重要性を示すことが出来る。

<研究の方法>

福井県厚生連健康増進部健診センターで2015年4月から2015年10月までに受診した健診受診者で、血液検査を実施している者を対象者とします。受診時の尿酸値と、年齢、血圧、BMI、脂質値、HbA1c、腎機能との相関について解析いたします。

<研究の組織>

研究責任者	重見博子	血液・腫瘍内科	医員
研究分担者	山内高弘	血液・腫瘍内科	教授
研究分担者	大岩加奈	血液・腫瘍内科	医員
研究分担者	松田安史	血液・腫瘍内科	医員
研究分担者	森田美穂子	血液・腫瘍内科	助教
研究分担者	上田孝典	福井大学副学長	

<研究期間終了後のデータの取り扱い>

本研究に関するデータは、研究期間終了後も平成30年3月31日まで保存させていただきます。将来、データを新たな研究で用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理委員会の承認を受けます。

<本研究に関する問い合わせ先>

○この研究に関する問い合わせ先

福井大学医学部 血液・腫瘍内科 医員 重見博子

電話：0776-61-8343

FAX：0776-61-8109

○この研究に関する苦情等の窓口

福井大学総務部松岡キャンパス総務室 学術支援係

電話：0776-61-8614 FAX：0776-61-8153